

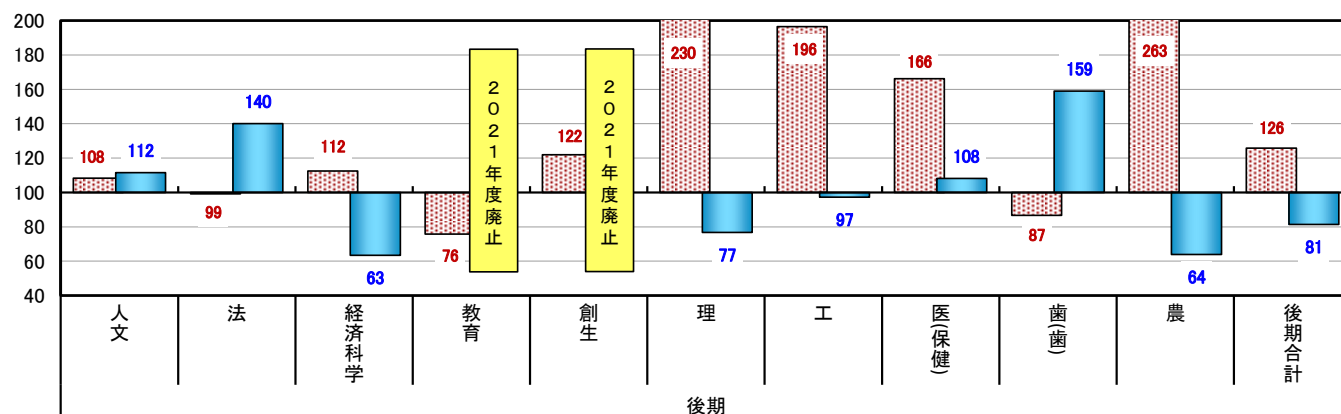
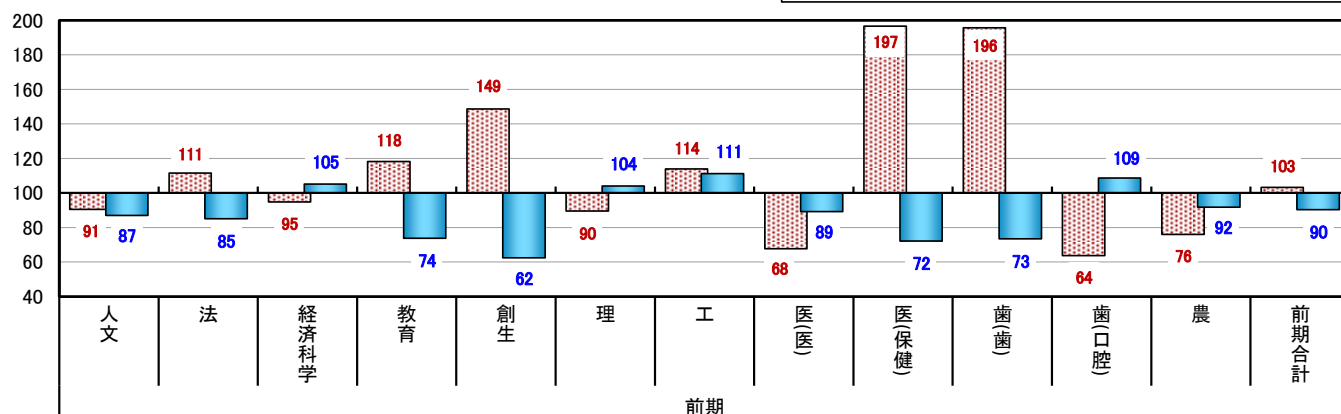
2021年度入試状況分析【国公立大】

新潟大：前期は減少、後期は大幅減少

前期：-335人 後期：-466人

※前年度の志願者数を100とする指数

□2020年度/2019年度 □2021年度/2020年度



入試変更点

選抜方法：理<前>…選抜方式変更＝選抜方法A、選抜方法B、選抜方法C
 →理数重点選抜、理科重点選抜、野外科学志向選抜
 工(工)<前>…選抜方式追加＝1方式→2方式(共通テスト重視型、個別学力検査重視型)
 教育、創生…後期廃止
 募集人員：理(理)<前>…133人→130人、<後>…32人→30人
 工(工)<前>…310人→320人、<後>…60人→50人
 医(保健/看護)<前>…49人→46人、<後>…8人→6人
 (保健/検査技術科学)<前>…19人→21人
 歯(歯)<前>22人→24人
 共通テスト：医(保健/看護)…国+歴公+数2+外+{理2 or (理+理基2)}
 ※理：生+(物 or 化 or 地学)→物 or 化 or 生 or 地学 ※生物が必須から選択へ
 個別試験：教育<前>…教科試験等に加え、面接追加
 医(保健)<後>…論+面→面 ※小論文除外
 医(保健/検査技術科学)<前>…外→数+外 ※数学追加

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、前期は335人(90)の減少で、2年ぶりに減少。後期は466人(81)の大幅減少だが、廃止の教育、創生を除くと(94)のやや減少。前年度倍増以上だった理、農はいずれも大幅減少。

<前期日程>

- 人文(87)は、2年連続減少。
- 法(85)は、前年度増加の反動で大幅減少。志願者数は4年ぶりに200人を下回った。
- 経済科学(105)は、改組2年目だがやや増加。
- 教育(74)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。志願倍率も3.3倍→2.4倍にダウン。
- 創生(62)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。2017年度の学部新設以来、最少の志願者数。
- 理(104)は、やや増加で3年ぶりに増加。方式別では3つの選抜方式の名称と個別試験科目や配点に変更された。個別試験科目が「英語+数学+理科1科目」の<理数重点選抜>は同じ個別試験科目だった旧<選抜方法A>との比較では(144)の大幅増加。なお、<理数重点選抜>に変更されたことで、総合点800点は変わらないが、英語100点→200点、数学400点→300点、理科300点→300点と3教科間でより均等な配点に変更された。個別試験科目が「面接+(数学、理科)から2科目」の<野外科学志向選抜>は同じ個別試験科目だった旧<選抜方法C>との比較では(83)の大幅減少。<理科重点選抜方法>は旧<選抜方法B>から数学の選択がなくなり「英語+理科2」となったが、旧<選抜方法B>との比較では(64)と大幅減少した。
- 工(111)は、2年連続増加。学部全体の志願倍率は2.1倍で4年ぶりに2倍を上回った。また、<共通テスト重視型>と<個別学力検査重視型>の2方式が導入され、それぞれの学部全体での志願倍率は<共通テスト重視型>が1.5倍、<個別学力検査重視型>は4.3倍と個別試験学力に期待する層が多かった。
- 医(医)(89)は、前年度大幅減少の反動はなく2年連続減少、志願倍率は3.8倍にダウンし、5年ぶりに4倍を下回った。

2021 年度入試状況分析【国公立大】

- 医(保健)(72)は、前年度倍増近かった反動で大幅減少。3専攻全て減少、特に(保健/検査技術科学)(54)は半減近い減少。
- 歯(歯)(73)は、前年度倍増に近い増加の反動で大幅減少。志願倍率も8.2倍→5.5倍へダウン。
- 歯(口腔生命福祉)(109)は、前年度大幅減少の反動で増加。
- 農(92)は、前年度大幅減少の反動はなく2年連続減少。

<後期日程>

- 人文(112)は、2年連続増加。志願倍率9.2倍で、近年では2015年度の10.4倍に次ぐ高倍率。
- 法(140)は、3年連続減少の反動で大幅増加。志願倍率も6.4倍→9.0倍にアップし、6年ぶりに9倍を上回る。
- 経済科学(63)は、改組2年目だが大幅減少。志願倍率も7.0倍→4.5倍にダウン。
- 理(77)は、前年度2.3倍増の反動で大幅減少。
- 工(97)は、前年度倍増近かった反動は小さくやや減少。しかし、募集人員が10人減少(募集人員前年度対比指数83)のため、志願倍率は5.5倍→6.4倍にアップし競争激化。
- 医(保健)(108)は、前年度大幅増加の反動はなく2年連続増加。専攻別では、(保健/検査技術科学)(118)が大幅増加。
- 歯(歯)(159)は、2年連続減少の反動で大幅増加。
- 農(64)は、前年度2.6倍を超える激増の反動で大幅減少。